

令和7年度 第2回 東海村スポーツ推進計画推進委員会会議録

1	開催日時	令和8年3月10日(火) 18時30分から20時00分まで
2	場所	東海村歴史と未来の交流館 活動室2
3	出席者 (敬称略)	<p>&lt;委員&gt;                      松坂晃, 塚原美光, 黒羽根史朗, 小泉親彦, 富岡孝明, 横須賀哲也, 久保田泰世, 石丸美代子, 海老原強, 菅谷恵美, 本多早紀, 竹下浩一, 川野翔大</p> <p>&lt;事務局&gt;                      小川直也(教育部長), 深見孝志(生涯学習課長), 豊嶋潤(生涯学習課課長補佐), 川崎彰利(生涯学習課主任), 木名瀬裕介(生涯学習課主事), 佐藤大樹(東海村文化・スポーツ振興財団スポーツ振興係係長)</p>
4	欠席者 (敬称略)	高橋和将, 皆神美由紀
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	協議・説明事項	(1) 第2期計画に基づく令和7年度事業報告について (2) 第2期計画に基づく令和8年度事業計画(案)について (3) (仮称) 第1期ホッケータウンTOKAI構想(案)について
8	配布資料	資料1 第2期東海村スポーツ推進計画(進捗管理シート) 資料2 第2期東海村スポーツ推進計画(活動指標) 資料3 (仮称) 第1期ホッケータウン TOKAI 構想(案) 参考1 第2期東海村スポーツ推進計画 令和7年度事業報告(東海村公式HP) 参考2 第2期東海村スポーツ推進計画PRノベルティ
9	発言内容	(1) 第2期計画に基づく令和7年度事業報告について (2) 第2期計画に基づく令和8年度事業計画(案)について ○ 配布資料の説明…資料1, 資料2 委員) プロスポーツ連携事業について, 来シーズン水戸ホーリ

	<p>ーホックのホームスタジアムが水戸信用金庫スタジアム（笠松運動公園）になると発表があった。東海村からアクセスしやすくなるが、村として何か施策等考えていることはあるか。</p> <p>事務局）東海村は水戸ホーリーホックホームタウン推進協議会に加盟している。今後の取り組みに関しても、従来通り推進協議会と調整して活動する。スタジアムが近くなることは魅力的なので、観戦機会は増加するのではないかと考えている。これまで以上に、村の取り組みのPRやスポーツに親しむきっかけづくりに繋げていきたい。</p> <p>委員）サッカースポーツ少年団は観戦しているのか。</p> <p>委員）以前、笠松運動公園がホームスタジアムときは観に行っていた。J1になるとチケットの入手が困難だが、観戦しやすくなるのは間違いない。子どもたちにとっては良いことである。</p> <p>委員）村として何かできることがあれば良い。</p> <p>委員）メリットがある反面、交通渋滞等の対策についても考えていく必要が出てくるだろう。</p> <p>委員）とうかいまるごとウォークラリーについて、ロゲイニングを実施したとあるが、参加者がSNSや口コミ等でイベントの感想等を拡散することで、新規参加者が増えていくと良い。楽しそうなイメージ化ができれば自走化が進むのではないか。</p> <p>事務局）ロゲイニングは村の自然や文化など再発見できるような内容にしている。今後も東海村スポーツ推進委員を中心に検討し、拡充していく予定である。</p> <p>委員）前回委員会で1か所ではなく、地域ごとにコース・エリアを設定できれば参加しやすくなると意見が出たので、それを踏まえて検討していければ良い。</p> <p>委員）東海村スポーツ推進委員でもこれから来年度の事業計画を立てる。ウォーキングイベントに限らず、コミセン等各地区で実施することで参加者増加を目指そうと考えている。</p> <p>委員）我々が知らないところでもウォーキングイベントを実施している。初心者でも参加できるイベントなど、イベントのレ</p>
--	--

ベル感が分かれば参加しやすい。スマイル東海では、今年度中丸コミセンでノルディックウォーキングの指導を行った。自治会単位でも運動・スポーツの輪が広がっていくと良い。

委員) 中学校部活動の地域展開について、令和8年度は柔道・剣道が地域クラブとして活動する。中体連の大会については、上手く登録を考えながら活動していく予定。部活動とは異なり、任意での参加のため、また、費用が発生するため中学生全体の3割くらいが地域クラブに参加しているのが現状。スマイル東海が中心となって、指導者にもコンプライアンス等スキルアップしていただきながら活動を推進していく。

委員) 地域クラブについて、平日と休日で別の種目をしている子供はいるのか？

委員) ほとんどいない。村外の学校に進学している子どもが地域クラブに所属しているパターンは見受けられる。男子バレーはそもそも部活種目がない。

中学校部活は約8割が加入している中、地域クラブは3割にとどまっている。子供も少なくなっている中で推進していくため課題がある。

委員) 今は多様化しているので部活動への入部は強制していない。教員についても土日の指導はなくなり、昔とは状況が変わっている。

地域クラブへの加入は、中学から加入する子どもたちにとっては敷居が高いように感じる。部活指導者は身近な教員だが、クラブの指導者は知らない大人である。また、先に活動を始めている子どもとはレベルの差が生まれている。上を目指している子の中に初心者が飛び込むのは難しい。

サッカーであれば部活動や地域クラブの他、プロチームの下部組織のなど、現在は子どもたちの選択肢が多様化しすぎており、選択肢が広く、制度が複雑である。そのため、どのチームを選ぶかで出場できる大会も変わる。どのチームに所属すれば良いのか、どんな選択肢があるのか、明確に答えられない子どもた

ちが多い。少しでも分かりやすくするために、チラシ作成やHPの整備をすることで、一覧化するべきだと感じている。

東海村は他市町村に比べ進んでいるため、課題を見つけ修正していけば良い方向に進むと考える。

委員) 部活動の地域展開は地域スポーツ団体が主導でやっているが、理念がないように感じる。当事者である子どもたちが選択しやすいように、今一度方向性を整理・検討してから地域展開するべきだと思う。

委員) 地域展開については、いろいろなスポーツにチャレンジしてもらえるような環境を整備したいと考えている。現在、種目によっては夜間だけの教室でも人が集まる。クラブ化すると、子どもたちの競技力レベルに差が生じてしまうことが課題として挙げられる。

委員) 村として、地域展開に関する子どもや保護者のニーズの把握はしているのか。

事務局) 令和5年度に小学生(高学年)と中学生、その保護者を対象にアンケートを実施している。子どもたちからのアンケート結果では、今後やりたいこととしてeスポーツや化学実験、ダンス、PCなど様々な意見が出た。今年度も小学6年生と中学1、2年生、その保護者に同様の設問でアンケートを実施する。

委員) 子どもへのアンケート実施方法について、学校で実施すると、子どもたちはその場の思い付きで回答してしまう。面談で直接意見を聞いた時の回答の深みが異なるため、当事者にヒアリングの機会があった方が良いのではないか。アンケートにどれだけ真剣に答えているかも疑問。

事務局) 新入生説明会では生涯学習課から説明をしている。当初は問い合わせも受けたが、ここ数年は説明してもリアクションが薄いことから、保護者の間でも地域展開への理解が徐々に広まっているのではないかと受け取っている。

(3) (仮称) 第1期ホッケータウンTOKAI構想(案)について

○ 配付資料の説明…資料3

	<p>委員) 競技力向上だけでなく、ホッケーに誰もが関われるような環境づくりができれば良い。</p> <p>委員) 村民の認知度について、埼玉県は飯能市がホッケーのまちとして認知されている。飯能市などほかの自治体を参考に推進していくのはいかがか。</p> <p>事務局) 調査開始した段階である。来年度以降、直接訪問して参考にしたいと考えている。他自治体でもホッケーを推進しているまちがあるため参考にしながら、どのような形で推進していくのが東海村に合っているのか、研究していきたい。</p> <p>委員) 具体的にどうやって推進していくのか。拠点が東海高校だけでは寂しい。阿漕ヶ浦運動公園ホッケー場の利活用や改修工事(人工芝の張替え)など予算化を含め、具体的な施策を考えるべきではないか。国体開催時のように、推進している姿が見えるようにアピールしていかないと村民はイメージがわからない。</p> <p>事務局) 今年度実施したホッケーフェスティバルの継続開催や子どもから大人までホッケーを継続できる環境整備などを推進し、事業推進・予算化に賛同してもらえるようなホッケーのまちの認知度向上が必要であると考えます。</p> <p>委員) 今年度はネオホッケー道具を購入し、学校での活用が始まった。今後はさらに活用していくべき。</p> <p>事務局) 具体的に活用を始めたのが年度後半となった。年度明けに再始動する。改めて学校にPRし、推進していきたい。</p> <p>委員) スティックを子どもが振り回してしまうなど、ネオホッケーの実施にあたり安全面で課題はあるか。</p> <p>事務局) 今年度は小学4年生以上を対象に実施しているが、ホッケー連盟指導の下注意を促して実施しているため、安全に実施できている。</p> <p>委員) 他自治体の取り組みを研究しながら、構想を進めてほしい。</p>
--	---

10 今後の予定	令和8年度第1回委員会（5-6月） 令和8年度第2回委員会（2-3月） 令和8年度も計画推進に向けた取り組みについて、他団体との意見交換会等を検討している。（令和6年度すこやか委員，令和7年度ホッケー団体）
----------	---